

第 1 回 TWJ 輸出勉強会 開催レポート

「何から始めればいい? ～ 初めての海外輸出 ～」

海外輸出に興味はあるものの、「何から始めればいいのか分からない」「物流会社に何を相談すればいいのか分からない」。そんな企業の皆さまに、海外輸出をより身近に感じていただくことを目的として、TWJ 輸出勉強会を開催しました。

開催日時	2026 年 7 月 30 日 (木) 15:30～17:00
主催	トランス・ワゴン・ジャパン株式会社 (TWJ)
開催場所	TWJ 会議室 及び オンライン (Zoom)
実例ゲスト	株式会社スズカ未来 ジャストロジ事業部 主任 西村宏紀様
主な内容	実例紹介・輸出実務解説・台湾文化紹介・質疑応答
対象	海外輸出・海外進出に関心のある企業、支援・パートナー企業



1. 実例から学ぶ「初めての海外輸出」

今回の実例ゲストは、株式会社スズカ未来の西村宏紀様。お客様から海外店舗向けキャンペーン商材の輸出を相談されたことをきっかけに、同社として初めて台湾・香港・米国への輸出に取り組まれました。

スタート時点では、必要な書類、輸出者・輸入者の役割、物流会社との分担、海外現地での受け入れなど、分からないことが多い状態でした。一方で、早い段階から TWJ へ相談いただき、必要な情報を一つずつ整理しながら準備を進めたことで、各国への納品を無事に完了。台湾では現地で 40 店舗向けの仕分け・配送まで対応しました。

2. 物流会社は何をしてくれる？

実例紹介を受け、TWJ 高橋（CS 部 部長）から「初めての海外輸出における実務ポイント」を解説しました。輸出者・輸入者・フォワーダーの役割を整理し、国内集荷から輸出通関、海上輸送、輸入通関、現地配送まで、Door to Door でどのように物流がつながるのかを紹介しました。

今回の事例で大きなポイントとなったのは、「早い段階で相談すること」。輸出先ごとの規制や必要書類、現地の受け入れ条件は案件ごとに異なります。最初からすべてを理解しておく必要はなく、目的地・商品・数量・希望時期などの情報を共有いただければ、TWJ が必要な確認事項を整理しながら伴走します。

01 早めの相談	02 役割分担	03 現地まで伴走
準備期間を確保し、必要な確認を一つずつ進める。	輸出者・輸入者・フォワーダーの役割を明確にする。	輸送だけでなく、現地受け入れや配送までつなぐ。

3. 黒鶴的台湾漫遊記

後半では、TWJ 代表 黒鶴が台湾でのビジネス経験をもとに、現地の文化・商習慣を紹介する「黒鶴的台湾漫遊記」を実施しました。今回のテーマは台湾の飲酒文化。会食の場でのコミュニケーションや「乾杯（Gān bēi）」「随意（Suí yì）」といった言葉のニュアンスなど、現地で知っておくと役立つ小話をご紹介します。

海外ビジネスでは、契約や物流だけでなく、相手国の文化や考え方を理解することも信頼関係づくりの大切な要素です。TWJ では物流に加え、台湾の現地事情や商習慣についても、経験とネットワークを活かしてサポートしていきます。

4. 参加者との質疑応答

質疑応答では、初回輸出までの準備期間、社内で整えておくべき体制、輸入国側の規制、海外取引先とのコミュニケーション、物流費の考え方など、実務に直結する質問が寄せられました。実例ゲストと TWJ 双方から回答することで、「実際に輸出するとき、どこで困りやすいのか」を具体的に共有する時間となりました。

5. 今回の勉強会を終えて

アンケートでは、「輸出の流れや仕組みが具体的に変わった」「専門家に相談しながら進めることで、輸出へのハードルが下がった」といった趣旨の声に加え、「他の企業の実例も聞いてみたい」とのご意見もいただきました。いただいたご意見は、次回以降のテーマや運営に反映してまいります。

（アンケート回答）

- ✓ 「輸出を一人で抱え込まず、専門家と一緒に進めるイメージが持てた」
- ✓ 「実例を通じて、輸出の流れがより具体的に理解できた」
- ✓ 「別の企業・業種の実例も聞いてみたい」

6. 次回に向けて

TWJ 輸出勉強会は、今後も「これから海外輸出に挑戦したい企業」にとって、実例と実務の両面から学べる場として継続していきます。次回は 2026 年 11 月の開催を予定しており、複数の企業ゲストを迎え、それぞれの海外輸出・海外展開の経験を共有いただく形式を検討しています。

海外輸出を検討されている方、取引先やお知り合いに海外展開を考えている企業がいらっしゃる方は、ぜひお気軽に TWJ へご相談ください。

海外輸出の第一歩、TWJ が伴走します。

トランス・ワゴン・ジャパン株式会社
Trans Wagon International (Japan) Co., Ltd.